

若葉の候、東通の味を堪能 ～ひがしどおり新緑そば街道まつり～



会場いっぱいに詰めかけました



おいしくいただきます



野菜等の販売も行いました

今回が初めての方や、すこ
かり常連という方、家族連れ
や友人連れなど様々な方が訪

場では地元の方をはじめ村外の方も詰めかけていました。各会と詰めかけていました。

雨も上がり、天候の回復とともに各会場には所狭しと村内外から多くのお客さんが続々

り」が開催されました。
初日の開始時は、あいにくの雨模様でしたが、昼頃には

5月7日から8日の2日間、村内4地区（大利、田名、鹿橋、砂子又）の会場で「ひがしどおり新緑そば街道まつり」

れており、各会場ではそばの他にも、それぞれの地区でとれた野菜や加工品など地場産品の販売も行われているな

ど、各会場を回る楽しみの
つとなっていました。

次回のそば街道まつりは11月の新そばの季節を予定しています。今回は4会場でした
が次回は会場が増えるとのこと。今回来られなかつた方も、
10月には足を運んでみてはい

かがでしょか。

元気に育って帰ってきてね！ ～東通小学校2年生によるサケ稚魚放流～



サケについての説明を受けます



驚かせないようにそっと放流します

今回の放流は、東通村を学ぶ授業「東通科」の体験活動の一
つとして行われたもので、老部
川内水面漁協、むつ水産事務所
などの協力のもと、約20万尾
の稚魚が子ども達の手により
放流されました。

放流に先立ち、むつ水産事務
所普及課小山内技師より、放流
されたサケがどこに行くのか、

稚魚を渡された子どもたちは、その小ささに驚いていましたが、何倍にも大きく育つて東通村に帰つてくるよう願いを込めながら稚魚を放流し、稚魚が見えなくなるまで泳いでいく姿を見送つていま

4月27日（水）、老部川で、東通小学校2年生56名によるサケの稚魚の放流が行われました。

また、サケが放流された川へ約4年後に戻ることやその理由などが説明され、子どもたちは興味深そうに聞き入っていました。